

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	日本人の海外留学促進事業			担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	令和4年度	担当課室	高等教育国際戦略PT		PTリーダー 渡辺 栄二		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定) 「第3期教育振興基本計画」(平成30年6月15日閣議決定)				
主要政策・施策	子ども・若者育成支援			主要経費	経済協力				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)を踏まえ、意欲と能力のある若者全員への留学機会の付与を実現し、2022年までに日本人留学生を6万人(2010年)から12万人へ倍増させるとともに、「第3期教育振興基本計画」(平成30年6月15日閣議決定)において指摘されている、海外留学の魅力や意義、様々な支援の機会などについて、国が広く情報発信することで、若者の海外留学への機運を高めていく取組の充実を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	事業の目的を達成するため、以下の取組を実施する。 ○大学、企業等と連携した留学情報の収集及び提供の実施 ○日本人学生、若手社会人及び外国人留学生が交流する機会の提供 等 事業の実施にあたっては公募等により、民間等に委託。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	83	83	81	81	0		
	執行額	83	83	72					
	執行率(%)	100%	100%	89%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	100%	100%	89%					
	令和4・5年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由				
海外留学促進事業委託費		80.6	0	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。					
計		81	0						
活動内容 (アクティビティ)	日本の若者等に対し海外留学についての情報提供を行う。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	トビタテ留学JAPANの周知	トビタテ!留学JAPANの認知度(株式会社マクロミル「学生の海外留学に関する調査」)	活動実績	%	39	38	31	-	-
			当初見込み	%	38	40	40	40	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額/応募学生数	単位当たりコスト		千円	25	25	80	27	
		計算式	千円/応募学生数			82,865/3,367	82,865/3,368	80,653/1,014	80,653/3,000

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
				-	年度	-	年度	
日本人海外留学生数(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	大学等が把握している日本人学生の海外留学状況 ※令和3年度の実績は、現在、調査中であり、令和5年度に確定する予定	成果実績	人	107,346	1,487	-	-	-
		目標値	人	-	-	-	-	120,000
		達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	独立行政法人日本学生支援機構「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」							
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
				活動実績	人	3,367	2,679	1,014
若者の海外留学応募を増やす	トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラムの応募学生数	当初見込み	人	3,506	3,368	3,000	3,000	-
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進						
	施策	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-13_1.pdf					
		該当箇所	同上					
	取組事項	分野:	-					
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-					
		該当箇所	-					
事業所管部局による点検・改善								
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明			
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	「日本再興戦略」及び「第3期教育振興基本計画」には2020年までに日本人の海外留学生を12万人にすることとされており、国民のニーズも高く国費を投入して行う必要がある事業である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	本事業はオールジャパンで学生等の海外留学の機運を醸成することを目的としており、国が主体となって実施する必要がある。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	「日本再興戦略」及び「第3期教育振興基本計画」には2020年までに日本人の海外留学生を12万人にすることとされており、優先度の高い事業である。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	支出先の選定に当たっては企画競争を実施し、有識者による委員会による審査の上で支出先を決定しており、公平性、透明性、妥当性を確保しているが、委託内容が専門的であったため、一者応募となった。今後は、余裕を持った公告期間を設ける等、より業者が参画し競争性が担保されるよう留意する。			
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有				
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	国が主体となって実施すべき事業であるため、委託契約により国が負担することが妥当なものである。			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	費目・使途は事業実施のための委託費であり、公募要項等で使途の詳細を定めた上で、十分な公告期間を確保し企画競争を実施することで企画内容の妥当性を確保し、加えて定期的に委託先と企画会議を行い、事業計画の不断の改善に取り組むことで最大限の効果を確保するよう図られており、水準は妥当と考えられる。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	委託費の契約時及び額の確定時においては、事業経費の費目・使途の使用見込及び支出内容を厳正に審査することで、その必要性について適切にチェックを行うこととしている。			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-				
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-				
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	定例の企画会議を委託先との間で行うことで、効率的な事業運営やコストの削減を常に図っている。				

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	事業目的である日本人留学生の海外留学増加を成果目標とし、事業目的にふさわしい定量的成果目標を設定している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業実施に当たっては、限られた予算の範囲内で、より有効な手段・方法により事業が実施できるよう、企画競争を行うことで契約先を選定することとしている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	HPの充実等の周知を着実に実施しており、認知度も上昇傾向にある。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	HPの充実等の周知を着実に実施しており、認知度も上昇傾向にある。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	本事業は、限られた予算の範囲内でいかに効果的に海外留学への機運を醸成できるかが課題であり、事業を運用する上で、より効率的な企画を実施できるよう、実施している。	
	改善の方向性	委託先の選定時に、予算の範囲内で最大の効果が得られるような提案になっているか等について入念に審査するほか、事業が効果的・効率的に運営されるように引き続き委託先と密接に連携をとり、事業の状況について常に把握・検討することとする。	
外部有識者の所見			
外部有識者による点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
の事業 改善 部内 改善	この事業は、一者応札・応募となっていることから、不参加業者への聞き取り内容を厳密に分析し、更なる仕様等の見直しを行うなど、実効性のあ る対策について検討が必要である。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
予 定 終 了 通 り	これまでの成果を活用し、今後の日本人の海外留学促進を検討することとする。		
備考			
高校生のための海外大学進学お役立ちガイド : https://tobitate.mext.go.jp/hs/bachelor_degree/ 大学生のための海外大学院進学お役立ちガイド : https://tobitate.mext.go.jp/univ/graduate_school/			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	新26-0044			
平成27年度	422			
平成28年度	404			
平成29年度	411			
平成30年度	415			
令和元年度	文部科学省 - 0408			
令和2年度	文部科学省 0409			
令和3年度				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

文部科学省
80.7百万円

(本事業の選定委員会の審査・評価結果に基づき、委託先を決定するとともに、委託先に対して委託費を交付する。)



委託【随意契約(企画競争)】

株式会社
株式会社サニーサイドアップ(1社)
80.7百万円

(留学情報の収集・提供及び日本人学生、若手社会人、外国人留学生の交流イベントの実施等)

費目・用途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.株式会社サニーサイドアップ			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	事務担当者人件費	19.9			
事業活動費	広報ツール制作	36.2			
事業活動費	ウェブサイト運営	4.3			
事業活動費	海外進学促進企画	20.3			
計		80.7	計		0

